

## 海外安全対策情報 平成30年度第2四半期（7月～9月）

### 1 社会・治安情勢

（1）2月4日、ギニア全土で地方選挙が行われて以降、選挙プロセス及び結果に不満を持った野党支持者の抗議デモが発生し、死傷者が出ました。8月、与党陣営及び野党陣営は今回の地方選挙の選挙プロセス及び結果について、これ以上追求しないことを合意したため、予定していた抗議デモは中止となり、情勢は落ち着きを取り戻しています。

（2）教職員組合は賃金の引き上げを、政府に要求しており、要求が満たされない場合には、新学期（10月3日）より教員のストライキを行うと宣言しています。ストライキが長期化した場合、学校に登校できないことに不満を持った生徒や保護者が全国各地で抗議デモを行う可能性も有り、注意が必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

一般犯罪発生状況は、従前と比較し改善している傾向も見られますが、政府車両を標的にした強盗や、裕福な家庭を狙った強盗事案がたびたび発生しています。

また、国境、県境周辺や幹線道路沿いでは、長距離タクシーや乗用車を狙った武装強盗による被害も治安当局により確認されています。

今後も、家族含め犯罪に巻き込まれないよう、行動には一層の注意を払い、自ら安全を守る心構えが必要です。防犯の心構えとして当館ホームページに掲載の【安全の手引き】をご覧ください、未然の防止に努めてください。

#### （1）一般犯罪・凶悪犯罪事案

##### （ア）コナクリ市（ラトマ区）

強盗犯が商店に押し入り、住民を殺害し、金品を強奪しました。ラベ県でも同様の強盗事件が発生しています。その他、ラトマ区、マトト区では銃やナイフを用いた犯罪が発生しています。

##### （イ）マンディアナ県

周辺住民が道路建設等のインフラ整備が実行されないことに対して、抗議デモを行い、制止しようとした治安当局と衝突し、死傷者が出ました。

#### （2）邦人被害事案

邦人被害事案は確認されていません。

#### （3）在留外国人（邦人以外）の被害事案

在留外国人の被害事案は確認されていません。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西ア

フリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

#### 5 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

#### 6 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われます。

以上